## 目標達成計画

作成日 : 平成26年4月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】							
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>	
1		介護計画の実施状況や目標の達成について客観的に判断でき、計画が見直しできる根拠となるように数値化するなど工夫が必要である。		毎月のカンファレンスのなかで話し合う時間を 取っていく。	6 か月		
2	6			随時(誕生会、季節の催しなど)行う。ご家族を招待する。	12 か月		
3	2	事業所と地域とのつながりを探す。	隣接する有料老人ホーム及びデイサービスと (近々開設) グループホームとのつながりをつくる。	・グループホームからの訪問、有料老人ホームからの訪問といったように両施設が行き来できるように利用者のつながりをつくる。 ・観月祭といった行事に入居者及び家族の交流を図る。	12 か月		
4	9	利用者がその人らし〈暮らし続けられるように利用者一人ひとりについて情報収集に取り組まれてほしい。現在の暮らし方の希望、これまでのことやこれからのこと等の情報を整理して介護計画につなげる。	いていきます。まず、過去の情報を入所時に 収集し、その人らしさを見つける。そしてホーム	・一人ひとりの情報収集の取り組みの充実を図る。 ・家族から常に利用者の暮らし方の希望を聴取するようにする。 ・アセスメントの充実を図る。	6 か月		
5					か月		

事業所名グループホーム愛作成日平成26年4月8日

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】						
	実施段階	取り組んだ内容				
- CAUCTAFE		( 該当するものすべてに 印)				
1	サービス評価の事前準備	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った				
		利用者へサービス評価について説明した				
		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした				
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した				
		その他(				
	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した				
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った				
2		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った				
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った				
		その他(				
	外部評価(訪問調査当日) —	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった				
3		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた				
		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た				
		その他( )				
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った				
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った				
		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った				
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った				
		その他(				
5	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した				
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)				
		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)				
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)				
		その他(				